



2023年12月3日

アドベント第一主日礼拝式／聖餐式

「すばらしい Holy Night」

1. 夜空にかがやく 天のつかいたちが
羊飼いたちに 知らせたよろこび
待ちのぞんでいた 祈りつづけてきた
救い主が 今日 お生まれになった
* 羊飼いたちの喜びは 歌とかわって
星空の下にひびくよ すばらしい Holy Night

2. 小さな馬小屋 飼い葉おけの中で
静かにねむっている 救い主イエスさま
天の神様が 愛するひとりごを
ひとの罪のために この世におくられた

(*くり返し)

【次】

「すばらしい Holy Night」

3. ありがとう神様 心からありがとう
わたしたちのために イエス様をありがとう
わたしたちの喜びは 歌とかわって
星空の下にひびくよ すばらしい Holy Night
- ラララララララ……………
ラララララララ……………
すばらしい Holy Night

21 「イエス、わがすべて」

喜び 平安 愛 イエスのなまえにあり
信仰 恵み み救い イエスのなまえにあり

幸せ ゆるし 永遠のいのち

心のすべての希望

イエスのなまえにある

イエス イエス いま生きている

オオオ～

イエス イエス わがすべてです

新聖歌67番 「わが心は」

- 1 わが心は 天(あま)つ神を尊(とうと)み
わがたましい 救い主を ほめまつりて喜ぶ
- 2 数に足らぬ わが身なれど 見捨てず
よろずよまで さきわいつつ 恵みたもう嬉しさ
- 3 御名は聖く 大御業(おおみわざ)は かしこし
代々(よよ)に絶えぬ みいつくしみ 仰ぐ者ぞ受くべき
- 4 ひくき者を 高めたもう み恵み
おごる者を 取りひしぎて 散らしたもう御力(みちから)
- 5 アブラハムの すえを永遠(とわ)に かえりみ
イスラエルを 忘れまさで 救いたもう とうとさ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌282番 「見ゆるところによらず」

1 見ゆるところによらずして 信仰によりて歩むべし
何をも見ず また聞かずとも 神のみ約束に立ち

* 歩めよ信仰により 歩め歩め 疑(うたが)わで
歩めよ信仰により 見ゆるところにはよらで

2 見ゆるところはいかなるも
われ早(は)や得(え)たりと信じつつ
疑うことなく歩みなば 必ずそのごとくならん 【*】

3 おのが聖(きよ)きをもて誓(ちこ)う
父なる神はまことなり そのみ言葉を信ずる者に
なしあたわぬことあらじ 【*】 アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン